※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編　現代の国語」（数研出版）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では国語の基礎・基本について学びます。様々なジャンルの文章にふれて「読む力」を向上させるとともに相手に自分の意思を的確に伝える力を身に着けていきます。
・定期的に課題の提出や小テストがあります。
・パフォーマンス課題については必要に応じてグーグルフォーム等を用いてタブレット端末から提出してもらいます。

2　学習の到達目標

基本的な国語の知識基盤の形成を目標に「読む・書く・聞く」等の言語活動を通して、日本語という言語の特徴について理解し、また効果的に内言を表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会において必要な国語の知識や技能を身につける。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深化することができる。

(3) 言葉が内包する社会的価値を認識するとともに、読書に親しみ自己の語彙力を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚や、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書に親しむことで自己の表現力を向上させる。また我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	学習基盤を整える ［教材］ 常用漢字ダブルクリア　四訂版（尚文出版） プリント教材	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 b［ 書 ］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう表記方法や表現の仕方を工夫している。 c：文や文章の作成を通して、状況に応じた漢字の使用等表現の工夫を理解し、よりよい表現となるよう粘り強く工夫する中で自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等
	書き手の意図をつかむ ［教材］ 『目指す世界の地図を作る』 コラム 評論の読み方	a：文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などに叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：論理的に書かれた文章を通して、文章構成や論理の展開を理解し、内容から書き手の意図が読み取れるよう、粘り強く読解する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等
	わかりやすく説明する ［教材］ チェックポイント1 わかりやすく話す	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b［ 話／聞 ］：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c：自身の考えを発表することを通して、言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、相手に自分の考えが伝わるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等
	文章の展開を把握する ［教材］ 『時間とは何か』 文章トレーニング 1文章構造を理解する	a：主張や根拠など情報と情報との関係について理解している。 b［ 読 ］：目的に応じて、文章に含まれている情報を関連付けながら内容や書き手の意図を理解したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：文章の展開と構成を通して、筆者の主張とその根拠といった情報と情報との関係について理解することができるよう粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等

※令和４年度以降入学生用

2	情報を聞き取る ［教材］ 文章の構成を工夫して提案する	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b［ 話／聞 ］：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：話し合いや討論を通して、目的や相手に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするなど必要な情報を整理し、よりよい提案となるよう粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等
	対比を読み取る ［教材］ 『水の東西』 コラム 「対比」に注意	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用している。 b［ 読 ］：目的に応じて、文章に含まれている情報を関連付けながら内容や書き手の意図を理解したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：文章に用いられている修辞技法を通して、表現上の工夫や筆者の主張とその根拠について理解することができるよう粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等
	資料を作成する ［教材］ グラフをもとに話し合う	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：グラフや資料を通して、一般化された情報の妥当性や信頼性を吟味し、自身が伝えたいことにとって必要な情報を取捨選択する等工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等
	言葉の働きをとらえる ［教材］ 『コインは円形か』	a：推論の仕方を理解し使用している。 b［ 読 ］：目的に応じて、文章に含まれている情報を関連付けながら内容や書き手の意図を理解したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：本文で扱われていることばの働きを通して、表現に含まれる情報や書き手の推論の仕方について理解することができるよう粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート（記述） レポート・発表等

※令和４年度以降入学生用

3	言葉を使う ［教材］ 文章トレーニング2 要約する	a:文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[　書　]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の文量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:読み手を意識した要約を通して、論理の展開や情報量の調整の重要性を理解し、相手の理解が得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート(記述) レポート・発表等
	根拠を読み取る ［教材］ 『「わらしべ長者」の経済学』 チェックポイント5 目的に応じて情報を抜き取る	a:推論の仕方を理解している。 b[　読　]:目的に応じて、文章に含まれている情報を関連付けながら内容や書き手の意図を理解したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:論理的に書かれた文章を通して、表現方法等に着目しながら書き手の主張とその根拠について理解することができるよう粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート(記述) レポート・発表等
	根拠を示す ［教材］ チェックポイント6 根拠の妥当性を説明する	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[　書　]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:根拠の妥当性を説明することを通して、主張と根拠の関係性とそれを他者伝わるように表現の仕方を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート(記述) レポート・発表等
	発表する ［教材］ 発表の方法 プレゼンテーション	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b[　話／聞　]:論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:聴衆に対する発表を通して、話し言葉や様々な表現方法の特徴を理解し、相手の理解が得られるよう粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート・発表等	ワークシート 振り返りシート ノート(記述) レポート・発表等

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(35) 時間・書くこと　…(45) 時間　・読むこと…　(25) 時間